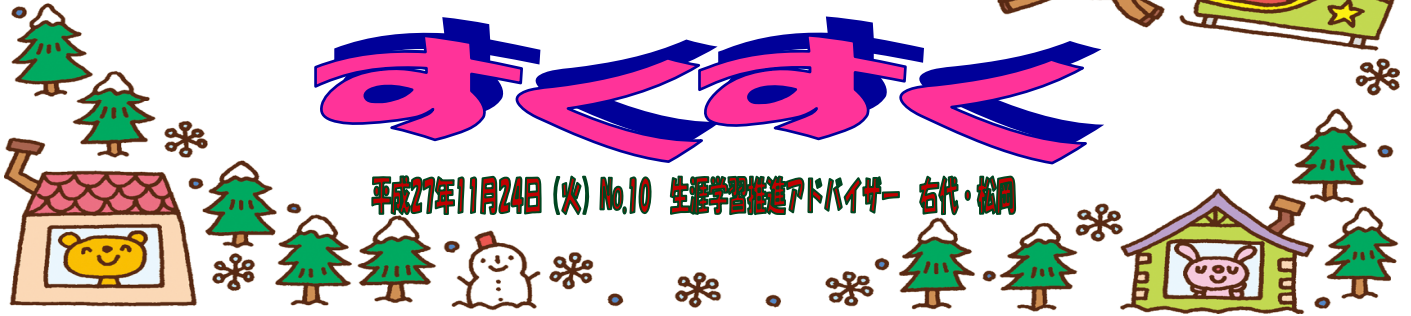




すくすく

平成27年11月24日(火) No.10 生涯学習推進アドバイザー 右代・松岡



一步また一步と、冬の足音が聞こえてきます。2015年のカレンダーも残り1枚。

「時の経つのは早いもので……。」よく聞く、よく言うセリフですね。日々、同じことの繰り返しと感じている私たち大人と、毎日が新しい日々と感じている、まだ生まれて数ヵ月～3年の子ども達にとっては、時間が過ぎ行くスピードも違うようです。

心も体もぐんぐん成長しているこの時期。きっと残り1枚となったカレンダーのどの日にも、子ども達は成長のあとを残していくのでしょうか。

“ぷち” 語り場第2弾 「子育てしやすい“まち”とは……。」

語り場第2弾として行った10月の“ぷち”では、「子育てしやすい“まち”とは……。」をテーマに、「別海町の子育てで不便に感じること」「中央公民館が建て替えられるとしたら、どんな部屋や遊具があったらよいか」「こんな支援や施設があると助かるのに」「職場復帰・社会復帰するにあたり不安なこと」の項目ごとに意見を出し合いました。

日頃から感じていても、「もしかして自分だけかな？」と心の中にしまっていたことも多かったのでしょうか。「遊ぶ場所が少ない。」「子連れで食事できるところが少ない。」など、どんどん出てくる意見に、お母さん達が大きくなすき反応します。「たしかに、小さな子でも安心・安全に遊べる公園あるかなあ。」「ふだん落ち着いて食事ができないお母さん。たまには、ゆっくり食事を楽しみたいだろうなあ。」私自身も経験してきたことなので、共感できる意見がたくさんありました。(今回の“ぷち”で出された意見、学習会でアンケートに答えていただいた方の意見は、別紙にまとめています。)

「なぜ、少子化が進むのか？」アンケートの中でダントツで多かった意見は、「お金がかかる。」でした。その他、子育て環境がよくないことをあげる意見もありました。

外出先で子どもが泣いていると、「知らないおじいちゃん、おばあちゃんが話しかけてくれるのがありがたい。」というエピソードがある一方で「だれも助けてくれない。」という声もありました。

今、昔と違う子育て環境の中で、お母さん達がどんなことに苦労しているのかを理解してもらえていないという現状も見えてきます。

「今の若者は……。」「今の若いお母さんは……。」という言葉を目にする度、胸を痛めているお母さんも多いはずです。

施設や支援の充実だけでは片づけられない、お互いを理解し合い、助け合っていく、人とのつながり、地域のつながりが大切になってくるのでしよう。

	11月すくすく学級参加状況			
		学習者	子ども	合計
中央公民館	0歳児学習会	7	8	15
	1歳児学習会	7	7	14
	体験学習	21	25	46
	10月ぷち	14	15	29
西公民館	学習会	10	12	22
	10月体験	11	13	24
東公民館	学習会・講習	5	8	13
	体験学習	7	8	15

*口腔衛生講習(11月東公民館学習会)には、中央からも8組参加しました。

11月学習会 ○やさしく聞いて話し言葉を育てる *親子で楽しむ絵本の世界

今回の学習会は、絵本やわらべうたを通じた交流でした。

まず、皆さんに、子どものお気に入りの絵本の紹介をしてもらいました。知らなかった絵本に興味を注ぐお母さん。「うちも好き！」と共感するお母さん。終始、ほのぼのとした空気が流れていました。絵本を通して子どもとふれあい、言葉や気持ちを交し合うことは、言葉を育む一歩となります。本をめくるという作業も子どもにとっては大事な経験ですよ。



3館通してみても、一番人気は、かがくいひろさんの『だるまさんシリーズ』みたいですよ。まだ、目を通したことのない方は、どうぞお試しあれ！



○やさしく抱いて親と子の愛情を深める *親子で楽しむわらべうたの世界

「いちりにりさんり♪」「いもむしごろごろ♪」「おふねがぎっちらこ♪」など、わらべうたのリズムにのせて、親子のふれあい遊びをしました。

わらべうたのリズムは、赤ちゃんがお腹のなかにいた時に聞いていた、お母さんの心拍のリズムと同じだと言われています。大好きなお母さんの声で歌ってもらえれば、なおさら心地よさが広がるということです。「ちゃんと節がわからなくて……。」なんていう心配はいりません。わらべうたの節は、あってないようなもの。お母さん流に詞をつくったり、曲をアレンジしてもいいんですよ。大切なのは、子どもと一緒に過ごす時間です。



今回は、お母さんに向けに、第3子を出産し、最近芸能活動に復帰したお笑い芸人くわばたりえさんの著作『あなたがうまれてから』を紹介しました。参加できなかった方もいますので、ここで一部紹介します。

～赤ちゃんからのメッセージ～

「悩み」

おなか すいたよ

オムツが きもちわるいよ。

ねむいのに ねむれないよ。

どうつたえたらいいのかわからないよ。

なくことしかできないよ。

またきょうも ぼくのほっぺがぬれてる。

ママのなみだで。

ごめんね ママ。

ないてばかりで ごめんね。

なくことしかできなくて ごめんね。

どうしてないているのかも

わからなくて ごめんね。

ボクは どうして なくんだろう。

わからないから またないてしまう。

ママがないてるのをみたら またないてしまう。

ママ。

ボクのママ。

なかないで。

ボクには ママしかいないから。

ママが いちばんあんしんするから。

ごめんね ママ。

ママをえがおにできなくて ごめんね。

ボクは うまれてきてよかったの？

ボクがうまれたひは

すごくしあわせそうに

わらってくれたのに……。

ボクは ママをなかせるために うまれてきたの？

なくことしかできなくて ごめんなさい。

せっかくつくってくれたごほん。

たべられなくて ごめんなさい。

ママのおっぱいが おいしいんだ。

ママがだっこでくれるミルクが おいしいんだ。

すこしでもながく ママのがほしいんだ。

ママ。

ボクのママ。

だいすきだよ。

わらってね。

ボクのママ。

ボクだけのママ。

きょうは

わらってボクを だっこして。

ないてるボクを だっこして。



遅くなりましたが、10月末に実施した西公民館体験学習の様子をお知らせします。

今年度はお天気に泣かされている西公民館の体験学習。今回も予報はいまいちでしたが、ゆめの森公園に近づくとつれ、うっすらと太陽の日差しが差し込む瞬間も！午前中は、たっぷり室内遊びを楽しみ、午後からは外遊びをすることもできました。

やっぱり外で遊ぶ子どもの姿は絵になりますね。とっていたら、噴水に誘われるかのように、いつの間にか自分で靴下を脱ぎ、水場に入っていたS君。さすがに水の冷たさにはかなわなかったようです。一瞬で終了となりました(笑)。生まれて数ヶ月のお友達も多かった今回の体験学習。1歳を過ぎたお友達は、みんなたくましいおにいさん、おねえさんに見えました。遊ぶ姿が様になっていましたね！

今回は、出産を控えたお母さんの代役、そして、きょうだい連れのお母さんのサポート役として、2名のおばあちゃんの参加もありました。母の強き味方、ありがたい存在ですね。



西公民館 ゆめの森公園 10月体験学習

バス中トークで、やってみたいスポーツがいろいろ出てきたのですが、“フロアカーリング”が実現可能かな？と只今検討中です！今回は、参加者の半数が関西方面出身。「食べてみたいもの」のテーマでは、京野菜のフルコースの話題が……。関西弁の会話も飛び交い、まるで関西旅行に来ているかのような錯覚さえ感じるバスの中でした。

11月体験学習 東公民館

別海町図書館

11月の体験学習は、町内の施設巡りでした。

別海町図書館では、「小さい子のお話の時間」に参加しました。司書さんによる読み聞かせでは、動物が出てくる絵本に反応する子、「いないいないばあ」をまねして楽しむ子と、様々な姿が見られました。「たんぽぽ」の言葉とリズムに合わせた手遊びは、単純な動きながらも大人も十分楽しめましたね。

図書館利用の説明では、「0歳の子も、大事な利用者です。」とあっていただき、「騒いでしまうから」と小さな子を連れて行くのに抵抗を感じていたお母さんも心が軽くなったようです。

お話の時間が始まるまでの間、手づくり布絵本サークル「たんぽぽ」さんが作ったサメの親子のぬいぐるみ(クジラのお母さんのお腹の中から50音分の赤ちゃんクジラが出てくるもの)で遊んで待っていたのですが、赤ちゃんクジラの上にゴロンと寝転ぶ子ども達の視線が気になり天井を見上げると、そこには虹色の階段状の天井が……！！R君の瞳に映る虹に、さらにロマンチックな気分になりました。子ども目線になれたからこそ、気づけた景色でした。

私自身、何度も利用しているのに初めて気づいたなんて、心に余裕がなかった証拠ですね(苦笑)。

中央児童館

みんなで昼食をとったあとは、自由遊び。

体育館から何やら歓声が聞こえてくるとしたら、お母さんたちが丸くなってミニバレーに汗を流していました。お母さん達のいつもと違う様子に、見入る子、仲間に入りたがり子、自分の遊びに夢中な子と、ここでも反応は様々でした。小野沼公園での記録は、20回。今回は、記録更新を目指して必死です。結果は、前回の倍を超える45回(でしたよね。)バス中トークで盛り上がった「高速アルプス一万尺♪」やKさんの思い出の1曲「TOTOPENKI」のダンスで、さらにもう一汗。それこそ、子どもの頃に帰った気持ちで過ごした時間が母たちの顔をキラキラさせていました。こんな時間も大切だなと改めて思いました。



お話の時間



剥製を前に大興奮！

郷土資料館

入口で待ち構えている天井まで届きそうな大きな熊の姿に、子ども達がどんな反応をするのだろうか？

大方の予想を裏切り、入口の熊をはじめ、別海町に生息している動物たちの剥製に大興奮の子ども達。(もちろん、なかにはちょっと怖がっている子もいましたが……。)

昔の生活用具やおみこしに興味を示す子もいました。

幼いながらも“何かを感じている”ことを感じるひとときでした。

郷土資料館

大きなクマへの反応……。

中央公民館の子ども達も、残念ながら(?)大きなリアクションはありませんでした。子どもの目線に立つと、大きなもの、高いところにあるものはすぐに視界に入ってきません。「すぐに」か、「徐々に」か、視界に入ってくるタイミングが、リアクションを変えるのかもしれない。

初めて訪れた方も多かったようです。子ども達にとっては、資料館というよりも動物園的な存在だったのかもしれない。

別海町は自然の宝庫だったんですね。



中央は、参加人数が多いこともあり「小さい子のお話の時間」は、2階の視聴覚室が会場となりました。広い会場だったので、読んでいただいた絵本や紙芝居も大型のものばかりでした。

『きんぎょがにげた』では、ページをめくるたびに、きんぎょを指差しに来る子が増えていきます。『みんなでぼん!』の紙芝居では、かけ声が待ちきれなくて何度も手をたたいている子がいました(笑)。何とも愛おしい姿ですね。しろぶたさんが主人公の『なにをたべてきたの?』では、「何かな?」の問いに元気に答える子ども達。楽しんでいる様子が目に見えるってうれしいものですね。お母さんの膝の上や横でじっくり楽しんでいる子もたくさんいましたね。

自由時には、親子で絵本を探したり楽しんだりする姿や、布絵本サークルたんぽぽさん(すすすくスタッフのTさんもメンバー)が作った布の絵本やおもちゃ、ぬいぐるみで遊ぶほのぼのとした姿があちこちで見られました。

「ステキな時間を過ごしているなあ……。」

見ているだけで、幸せな気持ちになる光景でした。



11月体験学習 中央公民館

別海町 図書館

「今日は、さすがのバスも消防車・救急車に負けた……。」(バスのおじさんの嘆き)
特に車が大好きな男の子にとっては、大興奮のひとつ。後部座席だけでは飽き足らず、何度も運転席に座りハンドルを握り「どうやったら動くの?」と興味津々の子。消防車の大きなハンドルに即反応した0歳児、しっかり握って動かそうとしている様は、たくましいの一言。子ども用とはいえ、まだまだ大きい消防服に身を包んだ子ども達。消防車や救急車を背景に思い思いに写真撮影をするお母さんもまた楽しそうでした。女の子は、遠くから眺めている子の方が多かったのですが、実際の大きさに「かっこいい」というよりも「怖い」という印象の方が強く残るのでしょうか。消防車そっちのけで、砂利遊びを楽しんでいる子もいました。消防車も、幼児相手では、石にも負けてしまうものなんですね(笑)。

消防署見学

公民館→図書館・資料館→公民館→消防署→公民館
と矢印の部分はバス移動。いつもなら、バスの乗り降りには行きと帰りの2回だけなのですが、今回は、倍の4回も! 乗っていた時間は短いながらも「バスに乗りこむ楽しさ」を何度も体験することができました。



オバサ
ほかせ
←似ている!?



ながら撮影会

★中学生といっしょ!!★

今週26日(木)は、中央2,3歳児学級の学習会ですが、中央中学校の3年生を迎えた“中学生といっしょ!!”を行います。中学生手作りのおもちゃで交流するミニ縁日も予定しています。クラスを問わず、ぜひ、たくさんの参加をお待ちしております。

★おとうさんもいっしょ!!★

年度当初の予定では、1月31日(日)となっておりましたが、会場の都合で1月24日(日)に変更になりました。こちらでも多数の参加をお待ちしております。詳細については、次回の通信でお知らせします。